

文化財の紹介 先人の軌跡をたどる

『織部焼』

今から400年ほど前、こ美濃の地でそれまでとは全く異なる造形をしたやきものが作られました。意図的に非対称にひずませた形。個性的な文様。現在でも人気の高いやきもの、織部焼の誕生です。茶碗に見られる織部黒や黒織部、向付などの鳴海織部や青織部、織部焼といっても胎土や釉薬の組み合わせにより種類もさまざまです。

慶長4年(1599年)2月28日、古田織部が京都・伏見で行った茶会に神谷宗湛という商人が招かれました。彼はその時の様子を、次のような言葉で日記に記しています。

古田織部が用いた茶碗が織部焼であったと想像されます。長い間、織部焼は愛知県の瀬戸で生産されていたと誤認されていました。しかし、昭和初期の故荒川豊蔵氏による志野陶片の発見と古窯跡の調査、その後に行われた元屋敷窯の発掘調査から、大量の織部焼が土岐市で生産されていたことが確認されました。土岐市は織部焼の一大生産地だったのです。

さて、市では織部焼が史実に登場した2月28日を織部の日と制定し、毎年記念事業を行っています。今年度は3月4日から6日にかけてセラトピア土岐を中心に、現在活動している陶芸家の作品展、土岐市が誇る歴史と財産を紹介する土岐市収蔵品展、おいしなお抹茶がいただけるお茶会など、さまざまなイベントを開催します。皆さんのお越しをお待ちしています。

織部の日記念事業については、文化振興課(☎55711)へお尋ねください。

「ウス茶ノトキハ セト茶碗ヒツミ候也 ヘウケモノ也」

ひずみのある、奇妙な形をした瀬戸茶碗が使われたと記述しています。この記述から、

鳴海織部向付(元屋敷窯出土)



▲鳴海織部向付(元屋敷窯出土)



▼黒織部茶碗(元屋敷窯出土)

プラザイベントガイド 文化プラザ ☎55711

織部の日協賛事業 假屋崎省吾 × 紫舟 花と書のコラボレーションライブ



「美をつむぎ出す手を持つ人」と評される華道家「假屋崎省吾」と大河ドラマ「竜馬伝」の題字でも注目される書家「紫舟」とのコラボレーションライブパフォーマンス!!!

と き：3月4日(金)午後7時開演
 ところ：サンホール
 入場料：一般 4,000円 **全席指定**
 ※未就学児の入場・同伴はご遠慮ください。

水森かおり コンサート2011 ~歌謡紀行~



“ご当地ソングの女王” 待望の土岐市公演!
 ヒット曲の数々から最新シングル曲まで、楽しいトークとともに送る熱唱ステージ

と き：5月7日(土)午後2時開演(1回目)
 午後6時開演(2回目)
 ところ：サンホール
 入場料：S席 6,000円 A席 4,000円 **全席指定**
 ※未就学児の入場・同伴はご遠慮ください。

好評発売中! 2月26日(土)販売開始!

取扱窓口

【文化プラザ】 窓口販売/午前9時~午後8時30分 発売日はお1人様5枚まで
 電話予約/午前9時~午後8時30分(発売初日は正午~)
 ※窓口で完売の場合、電話予約はありません。

【チケットぴあ】 ☎0570-02-9999 Pコード: 618-527(假屋崎・紫舟) 129-712(水森かおり)
 受付開始/午前10時~

詳細については、お気軽にお問い合わせください。

【施設利用案内：ホール・展示室】平成23年4月から利用申し込みが10カ月前から12カ月前に変更となります。